

大阪保険医雑誌2005年総索引

2005年1月号～12月号 (通巻456号～466号)

表紙写真

1月号	午後の光に微笑んで	森田重治
2月号	天橋立	新山昭次
3月号	春の詩	加藤甫明
4月号	春爛漫	藪下降三
5月号	子供の日	楠 研二
6月号	紫陽花	近藤宏和
7月号	棚田の景観	吉田一雄
8・9月号	未来	神野健栄
10月号	般若寺	三好宏和
11月号	山里の秋	吉田一雄
12月号	さあ滑ろう	楠 研二

11月号 市街地空洞化と医療の関係(景)

12月号 健康情報は氾濫しているが...(耳たぶ)

特 集

1月号「暦」

○論考

暦とバイオリズム	福田 淳
京都・西陣・通所リハビリテーション・暦	垣田さち子
暦と天文現象	久保良雄
旧暦カレンダーのすすめ	松村賢治
科学暦のすすめ	角辻 豊
暦の謎解き 十進法でない暦の数字	南 清彦
「味暦」は京の風土の料理の小筐	佐竹洋吉
暦と医療政策	野村 拓
わが家の花暦	野村 拓

○読者投稿

私と手帳	児玉貞介
暦とは何か	宇都宮健弘
私見 季語と歳時記	守田由雄
キリスト教の暦・教会歴とは	二宮聖耳
ひとりの暦 日本の暦	高橋甲子夫

○寄稿

現代における人畜共通感染症	荒島康友
---------------	------

2月号「震災列島

——教訓は生かされたか」

○インタビュー

作家・小田 実さんに聞く	
棄民の国から福祉大国へ 「阪神」から学んだこと・残された課題	住江憲勇

○論考

被災地・神戸の復興まちづくり	自律と依存の
葛藤の中から、新しい地域自治の芽も	松本 誠
身近にできる防災対策	武田雄二
関連死の発生機序とその予防	中越地震の関連
死の特徴	上田耕蔵
阪神大震災とマスメディア	新聞は何を伝えたか
	塚本 宏
阪神大震災から10年、心の回復	被災者として
援助者として関わった精神科医の立場から	
	小林 和
被災体験を風化させないために	石井 豊
精神科開業医の報告書から知る感想と課題	
	古屋頌児

ピープル

1月号	手作りアートをもっと気軽に アート&クラフトのオーダーメイド	佐藤 淳
2月号	落語を食べる	山口一儀
3月号	「フェアトレードショップ」という仕事	水野泰平
4月号	これからの本屋さん	石川あき子
5月号	読ませる新聞作り 決め手は瞬時の判断力	塚本 宏
6月号	“飲むパン”のススメ 身体に優しいビールの楽しみ方	大下香緒里
7月号	漢字医学用語が面白い	鎌田昌彦
8・9月号	笑顔の生まれるボランティア活動	山本節子
10月号	コミュニケーションは難しい	谷田寿美江
11月号	コラボレーションは美味しい 「ベジたこ」で大阪農業をアピール	上野清之
12月号	パリは私のアトリエ	松谷武判

なにわ医見

1月号	暦を大切に作る心(正)
2月号	これからの10年に向かって(正)
3月号	食の社会格差(景)
4月号	「医療改革」は亡国の途(省)
5月号	医療IT化の光と影(赤影)
6月号	希望もてぬ社会の憂鬱(景)
7月号	会員の意識を知る手掛かり(赤影)
8・9月号	アジアに冠たる平和憲法(村)
10月号	チーム医療の実践が要(幹)

診療所の肥やしとなった神戸震災7年間の健康相談・訪問活動 高木英司
 異見：震災と自衛隊、そしてPTSDと「心のケア」大合唱 富田和巳
 震災医療ボランティアのドキュメントと教訓 笹川征雄
 災害医療支援活動を通して見えた事象 ボランティア医療班「八尾隊」の54日間 円地 豊
 災害に強い住まいづくりの提案 森本泰弘

3月号「食の安全 Part II」

○論考

「農業の工業化」とアグリビジネスの食料支配 松原豊彦
 グローバル食糧ビジネスが世界を支配する方法 イラク侵攻と食糧主権の占領戦略から見えるもの 古沢広祐
 世界の食料問題と遺伝子組換え作物・食品 久野秀二
 これで良いのかBSE対策 なぜ全頭検査が必要か 山内一也
 不十分な米国のBSE対策 山田 優
 「食育」の時代 幕内秀夫
 見直せ！日本型食生活 鈴木猛夫
 食べ物から広がる耐性菌の実態 知られざる家畜への抗生物質乱用 小若順一
 私たちが忘れてきたもの 食と農の関係を再構築するために 榊田みどり

4月号「医療と規制緩和 ——公的無責任との対決」

○論考

医療と規制緩和 歴史的に考える 野村 拓
 規制緩和とアメリカ医療 高山一夫
 独立行政法人化された国立病院 医療の質的低下と労働強化 瀬谷哲也
 「主権在市民」の自治体病院をめざして 自治体病院の経営実態 羽間 透
 その特徴について 木高 博
 独法化で自治体病院の使命は担えるか ビジョンなき「府立病院改革」 芝山光代
 フィリピンからの看護師・介護士受け入れ問題 動向と課題 岡野孝信
 開業医にとって混合診療解禁とは 国民皆保険制度の歴史的意義 平井正也
 命の綱を断つ大阪府の医療費助成制度改悪 紀野 正
 ○寄稿 支払基金の「レセプトクリーン作戦」の裏と表 橋本 巖

5月号「ITを活用した日常診療」

○論考

ITを活用した医療活動 ツールとしてのIT、ポリシーの重要性 田坂佳千
 画像ファイリングソフトを活用する RS_Baseの使い勝手 伊藤裕之
 レセプトコンピュータORCA(日医標準レセプトソフト)の現状と課題 八木高秀
 検索エンジン活用法 辻橋宏典
 医療機関のホームページはどう作るべきか 医療情報提供の観点から 坂田信裕
 電子請求のメリット・デメリット 西田裕一
 個人情報保護と医療機関のあり方 井川澄人
 MLが日常診療に与えた影響 コミュニケーション・ワンダーランドへ 桜井 隆
 デジカメから始める診療所のIT化 笹川征雄
 個人認証と情報セキュリティ 金原 薫
 橋本クリニックのIT徹底活用 鈴木美和子 / 西村 智美
 加藤ひかる / 高木小百合
 めざせ！メールの達人 中村 厚

6月号「日本医療のアクセスを問う」

○論考

健康格差社会 何が心・社会・健康を蝕むのか 近藤克則
 現代の失業・貧困問題 その視角と課題 玉井金五
 ワーキング・プア アメリカの底辺を支える人々 森岡孝二
 日本の貧富格差拡大 橋本俊詔
 貧困で遠く医療 フリーター・ニートの実態と背景 金子雅臣
 「労働」を商品とみなすリスク 小杉礼子
 日本医療のアクセスを問う 島本慈子
 「アクセスの良さ」再考 野村 拓

○インタビュー

岸和田市長・原 昇さんに聞く
 「皆保険の柱、国保が空洞化している」 聞き手 / 紀野 正 / 宇都宮健弘

7月号「ベストパートナーを目指して ——会員意見調査から」

○座談会

掘り起こそう保険医の未来 宇都宮健弘 / 川崎美榮子 / 高本 英司
 原 昌平 / 入谷 純光

○論考

保険医のベストパートナーを目指して
 会員意見調査を指針として 高本英司
 『会員意見調査』結果の概要
 より身近な病院部を目指して
 『病院実態調査』から考える病院経営のいま 高尾文介

私の医師としての原点
 協会の平和運動に心から共感 中野明弘
 女性医師が仕事を続けるために 井上美佐

**8・9月合併号「再確認・日本医学と戦争
 ——平和と社会保障のために」**

○論考

日本医学と731部隊 731部隊とは何か 常石敬一
 福祉政策における「戦時」と「平時」 垣田裕介
 製薬会社の手はきれいか？
 生物化学兵器の研究開発と使用の歴史的系譜 儀我壮一郎

NBC(核・生物・化学)兵器対処能力を急速に強める自衛隊 平山武久
 劣化ウラン兵器廃絶に向けて
 被爆国・日本のなすべきことは 嘉指信雄

日本国憲法を守る意義
 9条と25条は人類史上の到達点 住江憲勇
 中国残留日本人孤児の願いを切り捨てた大阪地裁判決 岩田研二郎

自分史 二つの戦争に参加した時代 肥後喜久恵
 戦後60年の平和の影で 野村 拓

○会員投稿

焼け跡とクロワッサン
 平和の原点を忘れないように 守田由雄
 戦後60年を迎えて 武田勝文

10月号「再点検・雇用管理と保険請求」

○論考

雇用管理のポイント
 採用から退職まで 堀口正二
 労使間トラブル防止のための基本
 ケーススタディから考える 桂好志郎
 「知らなかった」ではすまされない！
 健保法上の整備、個別指導、審査・減点対策
 を中心に 上田浩治

**11月号「コミュニティと医療——地域
 に根ざした医療機関をめざして」**

○座談会

納得と共感のコミュニケーション
 「ちょっと困った」時の処方せん

中島 伸/岡崎 邦夫/菊井 知子
 紀野 正/吉村 猛/宇都宮健弘

○論考

ナラティブ・ベイスト・メデイスン
 臨床における物語と対話 斎藤清二
 地域に根ざした医院経営
 地域医療連携下における患者 医療者コミュニ
 ケーションの確立 鍋島史一
 コミュニケーションマニュアルの光と影 桜井 隆
 地域住民が気楽に参加できるイベント企画
 松尾美由起

医院と患者を結ぶ絆
 『わたしのカルテ』 橋本忠雄
 社会保障を地域住民と考える院内誌づくり 田端晃博
 向き合う医療(全人的医療)を求めて 後藤幸一
 医者が患者になったとき 紀野 正

12月号「『疾病自己責任論』を問う」

「健康ファシズム」の扉を開く自己責任論 原 昌平
 職場のメンタルヘルスと企業責任 夏目 誠
 社会保障の理念を変質させる健康日本21 篠崎次男
 地域保健法による地域再編

大阪府、大阪市の状況から 長友薫輝
 「疾病の自己責任論」の系譜 野村 拓
 生活習慣病はすべて個人の不摂生か
 産経新聞「正論」への反論 宇都宮健弘

疾病自己責任論
 住環境・シックハウス症候群の立場からの考察
 笹川征雄

テキスト

- 1月号 胃酸関連疾患の病態・診断と治療 梅垣英次
- 2月号 失明予防は全科の協力から
 「アイチェックチャート」はなぜ
 作られたか 鈴木武敏
- 3月号 「子宮・卵巣の腫瘍」開業医がどこまで
 できるか 悪性と良性の鑑別 矢野樹理
- 4月号 足・爪白癬の内服療法とSCIOを用い
 た臨床評価 小林裕美
- 5月号 糖尿病 最近の治療戦略
 実践的臨床における糖尿病薬の使
 い方のコツと注意点 小杉圭右
- 6月号 「眼の不定愁訴の原因」
 涙から見た糸口 横井則彦
- 7月号 関節リウマチの最新治療
 インフリキシマブ(レミケード)投

	与の実際	大脇 肇
8・9月号	高脂血症治療	
	その最新の考え方	山下静也
10月号	逆白衣高血圧（仮面高血圧）と白衣高血圧	
	より厳格な高血圧管理をめざして	坂口好秀
11月号	Helicobacter pyloriと消化性潰瘍、胃癌、生活習慣病	福田能啓
12月号	これからの更年期医療	
	とくに更年期障害とうつ病の鑑別を中心に	赤松達也

		馬場昭夫	
10月号	『パーソン・センタード・ケア』		
		守田由雄	
	『アメリカ強制収容所』	二宮聖耳	
	『「民営化」される戦争	21世紀の民族紛争と企業』	西谷宣雄
11月号	『メディアと人間の発達』	森口久子	
	『わかる身につく医療コミュニケーションスキル』	守田由雄	
12月号	『あるいてきた』	紀野 正	
	『「少子高齢社会」の描かれ方』	吉見賢治	

なにわ友あれ

1月号	失敗は勉強会のもと	川島正好
2月号	よってらっしゃい 『京阪沿線臨床懇談会』	井上美佐
3月号	ラグビースクールの指導員として	中井廉幸
4月号	先生様の明日	二村省三
5月号	ダイナミクスの魅力	高山 優
6月号	「豊中戦争展」	吉田正和
7月号	「瓢箪から駒 出版異変」	若草まや
8・9月号	「私のゴルフ遍歴」	楠 研二
10月号	自転車再発見！	小林隆一
11月号	マイペースで書と俳句	野崎京子
12月号	ホームページの開設運営	内田和宏

ほんだな

1月号	『甲状腺疾患診療 研修医・実地医家のためのパーフェクトナビ』	中野明弘
2月号	『そして赤ちゃんは花嫁になった』	二宮聖耳
3月号	『医療費の審査・知られざるその現実』	紀野 正
	『私は私になっていく 痴呆とダンスを』	守田由雄
4月号	『わが子の気持ちがわからなくなる前に読む本』	守田由雄
5月号	『蘇る私の広島日記』	二宮聖耳
6月号	『患者見殺し医療改革のベテン』 「年金崩壊」の次は「医療崩壊」	紀野 正
7月号	『5歳6歳スイス留学大作戦 ボーダレスな世界で生きられる』	紀野 正
	『交通事故』 後遺障害等級獲得マニュアル	紀野 正
8・9月号	『告発 戦後の特高官僚 反動潮流の源泉』	野村 拓
	『耳鼻咽喉科』 プライマリマニュアル	

各科情報

2月号	小異物三興題	朝子 恭
3月号	正常眼圧の考え方	米良博量
6月号	過活動膀胱	桑江秀樹
8・9月号	裏技漢方	藤崎秀孝
12月号	女性の腹痛	河端良一

こーひーぶれいく

2月号	椿狂い 椿絵古文献蒐集	岸川慎一郎
-----	-------------	-------

なにわの伝説（三善貞司）

135～145

1月号	「竜王信仰のメッカ」
2月号	「本山寺の人頭蛇身仏」
3月号	「豪商淀屋の没落」
4月号	「豪商淀屋の没落」
5月号	「我孫子観音」
6月号	「薄幸の美女 夕霧」
7月号	「ミステリアス重成」
8・9月号	「ミステリアス重成」
10月号	「ミステリアス重成」
11月号	「丑の刻まいる」
12月号	「怪盗石川五右衛門」

岸野令子のあまのじゃく映画時評

㉑～㉔

2月号	中国版企業再生物語
4月号	《人権》をテーマに6つの視線
6月号	価値観の変化が見える韓国映画
8・9月号	憎悪と愛情の狭間で揺れる息子の苦悩 観客に問いかける戦後60年
11月号	“在日”をテーマに多角の特集 「山形国際ドキュメンタリー映画祭2005」の収穫

わたしの文化評

1月号	ベストテンの時代変遷 時代で変化する評価	富田和巳
-----	----------------------	------

- 3月号 HARUKO
「在日」三世代の戦後史 堀 忠
5月号 「日本のいちばん長い日」
岡本喜八監督を偲んで 富田和巳
7月号 ながい涙の大地から
終わらぬ戦後・旧日本軍の遺棄兵器 堀 忠
10月号 世界のブランド「ゴジラ」
誕生から半世紀を迎えて 富田和巳
12月号 みやび 三島由紀夫
若手作家が語る三島の世界 堀 忠

エッセイ「風のひと土のひと」(色平哲郎)

⑩～⑳

- 1月号 七つの灯火
2月号 新「脱ア入欧」
3月号 「ふたつの森」と患者視点
4月号 パプさんとのご縁
5月号 医師と患者の接点をめぐる対話
6月号 佐久病院に集まった研修医の1年
7月号 インフォームド・コンセント
8・9月号 「逃げない」「隠さない」「ごまかさない」
10月号 「自宅死増加政策」の落とし穴
11月号 ニセ医者とプライマリ・ヘルス・ケア
12月号 「経済財政諮問会議」とは？

医界雑録 (青柳精一)

135～145

- 1月号 明治から大正時代へ(その4)
2月号 明治から大正時代へ(その5)
3月号 明治から大正時代へ(その6)
4月号 明治から大正時代へ(その7)
5月号 明治から大正時代へ(その8)
6月号 明治から大正時代へ(その9の1)
7月号 明治から大正時代へ(その9の2)
8・9月号 明治から大正時代へ(その9の3)
10月号 戊申詔書と大逆事件
11月号 施薬救療の大詔と恩賜財団済生会
12月号 実費診療所と医師会の抗争(上)

山本三春のフランスわくわく日記

㉓～㉕

- 1月号 「冬のムエット」
2月号 「お客さまは“ど…”です(第1回)」
3月号 「お客さまは“ど…”です(第2回)」

医療の国際協力

①～③

- 4月号 パレスチナ 榊原 聡
6月号 アブハジア 田中英三郎

- 8・9月号 スーダン：アフリカ睡眠病プロジェクト
工藤ちひろ

街角の美を訪ねて

①～②

- 5月号 東西アール・ヌーヴォーの交差点 堺
市立文化館 守田 由雄
8・9月号 不思議な美の空間 和泉市久保惣記念
美術館 守田由雄/紀野 正

モンスーン (田辺 宏)

- 7月号 混沌の中に見た景色①
10月号 混沌の中に見た景色②
絶望の被災民
生々しいスマトラ沖津波の傷跡
12月号 混沌の中に見た景色③
人の感情さえ奪ったもの
パキスタン地震

悪手手直しクリニック (滝口政季)

⑩～⑳

- 1月号 「新春対局」羽田先生が本田九段に挑戦
2月号 勝負手を放つタイミング
3月号 高段者へのカベ
4月号 トリカケにいくと碁は負ける
5月号 コウに見えてコウにあらざ
6月号 優勢な碁のまとめ方
7月号 勝敗を分けた布石の立ち後れ
8・9月号 「稼ぎ過ぎ」に要注意!!
10月号 打たれなかった急所
11月号 碁は「調和」のゲーム
12月号 美人は追わず

大阪の文化シリーズ

- 3月号 大阪の食と農業⑧
生産者と消費者の交流の場
「こーたり～な」を訪ねて

詰碁・詰将棋

1月号～12月号

本田邦久/有吉道夫

トークツウトーク

- 12月号 自己恐恐怖症における精神療法
精神分析療法からの試み 喜多成价